映画資料でみる

蒲田時代の小津安二郎と清水宏

おづ　やすじろう

しみず　ひろし

二〇〇三年　十一月十八日(火)―十二月二七日(土)

二〇〇四年　一月六日(火)―一月二五日(日)、二月三日(火)―三月二八日(日)

東京国立近代美術館フィルムセンター展示室(七階)

料金●一般二〇〇円(一〇〇円)、大学生・シニア七〇円(四〇円)、高校生四〇円(二〇円)

＊料金は常設の「展覧会 映画遺産」の入場料を含みます。

＊(　)内は二〇名以上の団体料金です。小・中学生は無料です。

＊大・小ホールで映画をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

＊シニア(六五歳以上)の方は、必ず年齢を証明できるものをご提示ください。

開室時間●午前十時三〇分―午後六時(入場は午後五時三〇分まで)

休室日●毎週月曜日および十二月二八日(日)―一月五日(月)、一月二六日(月)―二月二日(月)

DAYS OF YOUTH: OZU AND SHIMIZU AT THE SHOCHIKU KAMATA STUDIO

カボチャ（小津安二郎監督、1928年）スチル写真
（中央左から）斉藤達雄、坂本武

足に触った幸運（小津安二郎監督、1930年）スチル写真
（左から）斉藤達雄、吉川満子、青木富夫、市村美津子

美人哀愁（小津安二郎監督、1931年）スチル写真
（左から）井上雪子、岡田時彦

映画資料でみる

蒲田時代の 小津安二郎と清水宏

奇しくも同じ年に生まれ、ともに松竹蒲田撮影所で監督デビューを飾った二人の偉大なシネアスト―**小津安二郎**（1903－1963）と**清水宏**（1903－1966）。蒲田時代の彼らが時代劇からカレッジもの、メロドラマ、ナンセンス・コメディまで実に多彩なジャンルの無声映画に取り組んだことはよく知られています。大船の新撮影所がオープンするまでの約10年間に彼らが手がけた作品は長篇・短篇をあわせて、小津が生涯に残した監督作54本のうちの35本、清水による監督作163 本のうちの96本にも及ぶものであり、この時代の試作と実験が二人の映画キャリアに大きな位置を占めていることは疑いえません。

しかし、その時代はまた一方で、後の映画ファンや研究者たちにとってその実際の作品を目にすることの困難な空白の時代でもあります。小津の失われた17本のタイトル全てが蒲田時代の作品に集中しているうえ、清水による蒲田時代の現存作品もわずかに11本を数えるに過ぎません。

小津と清水の生誕100年を記念して開かれる本展は、国立国会図書館寄贈の戦前資料と御園京平氏旧蔵のみそのコレクションを中心に、フィルムセンターが所蔵するスチル写真や当時の映画館プログラムなどのビジュアルな資料によって、二人の蒲田時代の足跡を回顧するものです。関連の上映企画「小津安二郎の芸術」（共催：松竹株式会社）、「清水宏　生誕100年」（共催：特定非営利活動法人東京フィルメックス実行委員会）とあわせて、日本映画が誇る巨匠たちの作品世界を理解するための一助となれば幸いです。

踊れ若者（清水宏監督、1928年）スチル写真
（左から）雲井鶴子、渡辺篤

陽気な唄（清水宏監督、1929年）スチル写真
（左から）田中絹代、大山健二

双心臓（清水宏監督、1935年）スチル写真
（左から）忍節子、桑野通子、川崎弘子、高杉早苗

肉体美（小津安二郎監督、1928年）
「電気館ニュース」No.100

［オモテ面写真（上から）］
- 懺悔の刃（小津安二郎監督、1927年）スチル写真　（左から）吾妻三郎、渥美映子
- 会社員生活（小津安二郎監督、1929年）「帝国館ニュース」No.32
- エロ神の怨霊（小津安二郎監督、1930年）スチル写真　（左から）伊達里子、星ひかる
- 落武者（清水宏監督、1925年）スチル写真
- 峠の彼方（清水宏監督、1924年）「DENKIKAN NEWS」No.22
- 青春図会（清水宏監督、1931年）スチル写真　高田稔（中央）

あひる女（清水宏監督、1929年）「観音劇場ニュース」No.13

常設展

展覧会 映画遺産

―東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより―

The Japanese Film Heritage

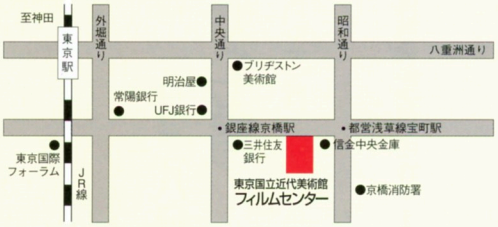
–From the Non-film Collection of the National Film Center–

フィルムセンターが開設から50年の間に収集してきたコレクションの中から特に珍しい映画人の遺品や初期の映画機械などを一堂に集めて展示する一方、過去に行われた映画の発見・復元の成果を紹介。昨年11月の映画展示室開室以来ご好評を得てきた「展覧会　映画遺産」が常設展示として再オープンします。

＊開室時間、休室日などは企画展（映画資料でみる蒲田時代の小津安二郎と清水宏）と同様。

ワーウィック 撮影機

東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo
東京都中央区京橋3-7-6



営団地下鉄 銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄 浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
営団地下鉄 有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600
東京国立近代美術館ホームページ：http://www.momat.go.jp/